

# 人工光植物工場

## として活用

(有)安部製作所

### 施設の概要

水耕栽培ユニットを導入した完全人工光型植物工場として活用し、シタス5種類、ベヒーリーフ20種類、パクチー、小松菜等を生産している。銀とオゾンで殺菌処理した水を使用することで、通常の栽培に比べ苦みやえぐみが少なくなる。主に県内のスーパーへ出荷されており、地産地消と地域振興を兼ね合わせた事業となっている。

### 廃校活用までの経緯

施設の有効活用と地域の振興発展のため、廃校となった旧町立南小学校を五戸町が無償貸与。無償貸与の事業者募集前には地元学区の住民の利用意向調査を行ったが、維持費等の費用が自己負担であること等もあり、利用希望はなかった。それを受け事業者の公募を行ったところ、精密電子部品メーカーの有限会社安部製作所の事業多角化に伴う植物工場の拡大のため、校舎を第2工場として稼働させることとなった。別事業者1者の応募もあり、1つの校舎に2事業者が入ることも検討されたが、電気設備等の面で辞退した。



植物工場内では帽子にマスク、手袋、白衣を着用し、衛生状態に常に気を使っている。

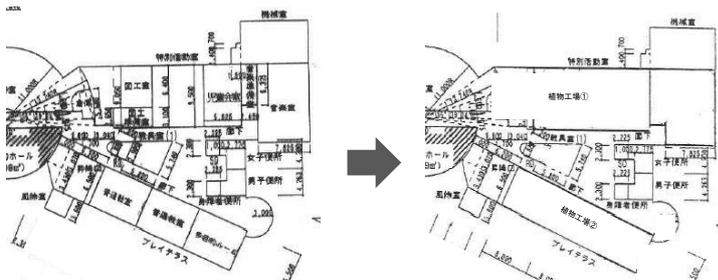
### 廃校を活用するメリット



安定供給可能、有害物質(PM2.5等)が付着しない、農薬不要等さまざまなメリットをもつクリーンルームによる液肥栽培。

廃校活用による植物工場事業は青森県内では初の試みとなったため、県内外問わず多くのメディアに非常に注目されるものとなった。また、大きな費用の掛かる土地・建物が無償で活用できることにより、初期費用を削減することができた。事業者と町だけではなく、地域の活性化と雇用の創出にもつながるものであり、地域住民にも理解・応援された事業となったことが大いに意義のあるものであった。

業種	農業
用途	工場
建築年月	平成11年12月
規模	2,566㎡
運営開始時期	平成27年度
改修費用	約5,500万円



Before After

特別教室棟および普通教室棟の壁を取り払い、植物工場として利用している。

# 青森県 五戸町

自治体の声：工場稼働後、県内外から多くの視察者が訪れています。地域に活力を与え、地域振興の一翼を担う存在として、さらなる活躍が期待されます。